令和6年度八頭町教育委員会 2月定例会 会議録

- 日 時 令和7年2月25日(火)午後1時25分～午後3時00分
- 場 所 八東庁舎 2階 第1会議室
- 出席委員 小林委員、上島委員、大上委員、谷口委員
- 欠席委員 なし

報告

- ・教員の人事が厳しい。特に中学校では授業が成り立つギリギリの数しか配置できない。これは八頭町だけではない。小学校も同様。新採用の辞退者が相当数いるのではないかと思う。3月11日の臨時教育委員会で報告する。
- ・発達障がい児童の保護者がワンステップやずというサークルを作られた。状況を聞いた中でできることから対応していきたい。これに先立ち、スクールバス利用に関して規則改正をする予定。片道6km未満は夏場に自転車通学としているが、自転車に乗れない児童に対応しようと考えている。
(委員)ワンステップやずは郡家東地区公民館を利用している。親の悩みや情報交換をしている。共有できる人がいることで気分も違うと思う。
(委員)対象年齢は？
(教育長)小中学校、兄弟に保育所がいる家庭もある。
(委員)今までは対応できていなかったのか。
(教育長)自転車に乗れない児童がいることは今回初めて聞いた。発達障がいへの理解やヘルプマークの認知が進んでいない。

議事

議案第1号 専決処理の承認を求めることについて

(各小中学校の入学期日等の通知及び学校の指定について)

- ・全委員一致で承認した。

議案第2号 八頭町文化財調査員の任用等に関する要綱の一部改正について

- ・報酬日額は公共工事設計労務単価を基にしており、単価上昇に伴う改正。
- ・全委員一致で承認した。

議案第3号 県外優秀アスリート民間学生寮運営事業補助金交付要綱の一部改正について

- ・近年入学生が増えている。R8年度入学生の部屋が足りなくなる場合に備えて、前年度10月に民間アパートを仮押さえするための費用。県補助1/2があり、県の要綱に併せて改正するもの。
- ・全委員一致で承認した。

議案第4号 八頭町教育委員会表彰の審査について

- ・学校教育功労賞4名、社会教育功労賞1名、児童生徒功績賞14名
- ・全委員一致で承認した。

議案第5号 令和6年度一般会計補正予算(第10号)について

- ・主に事業費がほぼ確定したことに伴う減額補正。資料に沿って説明。
- ・小学校管理運営費、中学校管理運営費は、主に工事にかかる増額。歳入に合併特例債を充てる。R6年度事業として計上し、R7年度に繰り越して実施する。
- ・社会教育施設費は、八東体育文化センター照明器具のLED化にかかる工事請負費の増額。歳入に合併特例債を充てる。R7年度に繰り越して実施する。
- ・給食センター管理運営費は、空調機増設にかかる工事請負費の増額。施設内温度を25℃以下に保つことが望ましいという指針があるが、現状設備では難しいため空調機を増設する。
- ・全員一致で承認した。

議案第6号 令和7年度一般会計当初予算について

- ・昨年より大きく変更した部分を資料に沿って説明。
- ・教育委員会事務局費は、高校魅力化コーディネーターの配置にかかる経費を計上。県補助1/2がある。
- ・小学校コンピューター経費、中学校コンピューター経費は、1人1台端末を全て更新するための費用を計上。公立学校情報機器整備補助金は県支出金だが国費も含まれる。
- ・小学校教育振興費、中学校教育振興費では、入学祝金は小学生1人5千円、中学生1人2万円を増額した。ふるさと活性化基金が財源となっている。
- ・中学校管理運営費は、電話設備が古くなっており、留守番電話機能付きの設備に更新する費用を計上。
- ・社会教育施設費は、あーとふる八頭のHPサブサイト作成にかかる費用を計上。
- ・スポーツ団体育成費は、2年に1回実施しているトップアスリート教室事業を実施

- する年。八頭郡で行うため、経費は3町(八頭町、若桜町、智頭町)が負担する。
- ・プール維持管理費は、来年度も小学校の夏休みプール解放を行わないため、プール監視員報償費は計上しない。
 - ・3月議会に提案させてもらう。
 - ・全員一致で承認した。

その他

- ・ 3月11日(火) 八頭中学校卒業式 集合9:15 開式9:30
- ・ 3月19日(水) 町内小学校卒業式 集合9:40 開式10:00
小中学校共に教育委員会告辞あり
- ・ 4月2日(水) 学校管理職会の歓送迎会(予定)
- ・ 八頭町こども読書活動推進計画 第3次計画(案)について

R7年度からR11年度の5カ年計画。策定委員8名による3回の検討、児童へのアンケート実施、パブリックコメントでの意見集約を行った。主な改正点は、ICTを活用した取組をサポートできるよう職員研修をすること、アンケートから児童の読書離れが進んでいると感じ、乳幼児期からの取組としてブックスタートや読み聞かせなどを計画に盛り込んでいる。本案で策定する。

【補足・委員意見等】

- (委員) 保育園をこども園化すると聞いたが、いつ頃か。
- (教育長) 町民課が所管のため聞いていない。計画にこども園を作ると記載しているが進んでいないのでお叱りも受けているようだ。スケジュールを詰めているところだと思う。
- (委員) 所管は様々。こども園は幼稚園機能を備えている。幼稚園は学校なので教育委員会も積極的に関われないかと思う。町民課だけでは教育部分が弱いのでは。町民課は幼児教育等の研修にあまり出てこれない。
- (教育長) 智頭町は保育所も学校も教育委員会が所管であり、それが望ましいと思うが、八頭町では難しい。
- (委員) 八頭町は教育環境への予算が手厚い。子供たちに税金を投入しているということだが、大人になり都会で就職すると都会に税金を納めることになる。八頭町の未来づくりを考えたときに、町を支える人材を育てるためにどうしたらよいかと考える。
- (委員) はたちのつどいでのインタビューを通して、卒業したら帰ってきて働くという声を聞いた。また、公民館事業に参加してくれた大学生も帰ってくると言っていた。出たい世代と帰ってきたい世代の波があるのかもしれない。
- (委員) 人口減をどれくらい緩やかにできるのかということだと思う。
- (教育長) キャリア教育が功を奏してほしい。
- (委員) 幸せの鍵は金だけではないという価値観を子供たちに入れたいといけない。

(委員) 学力や学歴を重視する傾向や、良い大学を出て都会で働いて稼ぐという考えもあるがそれだけではない。小さい頃から生き方を育てていかないと。

(教育長) コミュニティ・スクールを始めたので、それがどう影響するか。すぐに答えが出るものではない。